

## 「入間市の学校教育」刊行に寄せて

入間市教育委員会  
教育長 中田 一平

「入間市の学校教育」の刊行にあたりご挨拶を申し上げます。

令和5年度、入間市教育委員会においては「学びと実践があふれるまち」を教育行政テーマに掲げ、「心理的安全性と子どもの主体的学びのある学校」を目指して各種事業を推進してまいりました。その実現のために、①子どもの学びを柱として、児童生徒の聴く力、探究力、やり切る力を育てる「学校力の向上」 ②ICT機器を効果的に活用して子どもの思考を保障する「児童生徒の資質・能力の向上」 ③授業と業務のDXや組織改善による「働き方改革」を推進しております。

学校教育においては、心理的安全性の保たれた環境の中で、個別最適な学びと協働的な学びを柱に誰一人取り残さない授業を展開し、探究を重視することで子どもの主体性を引き出す「学び合い学習」を推進してまいりました。この「学び合い学習」に対して、「何事にも諦めずにチャレンジできる」「最後まで友達とやり抜くことをたくさん経験した」「みんなでやると楽しい」という多くの児童生徒からの感想があり、学校の授業が主体性と共生の心を育む場となっていることがわかります。

市内各小中学校においては、令和4・5年度の市教育委員会、市教育研究会の研究委嘱校として、藤沢南小学校、新久小学校、東町小学校、高倉小学校、藤沢中学校、野田中学校の6つの学校が、児童生徒のさらなる成長につながる研究主題のもと、2年間積み重ねられた研究と実践についての発表を行いました。当日は、多数の参会者を得て、実り多き研究発表会とすることができました。

このたび刊行されました「入間市の学校教育」は、これらを十分に踏まえたものと考えております。併せて本冊子は、前述いたしました市内6校の委嘱研究の成果や、各小・中学校の校内研修の内容、教育委員会の所管である各種委員会の研究実績等を幅広く収録しております。各学校におかれましては積極的に活用していただき、自校の教育向上に活用いただければ幸いです。

結びに、校長先生並びに諸先生方の研究実践に敬意を表すとともに、これからも市民の期待に応えるべく、「豊かな人生とよりよい社会の実現に向け、主体的に考え、行動できる人を育む教育」が展開されることを祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

令和6年3月